

取扱説明書



赤外線コードレススピーカーシステム

AT-SP350TV

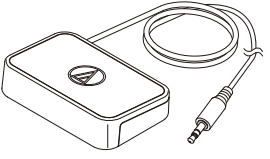
お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口（→16 ページ）までご連絡ください。



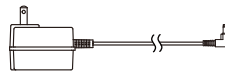
●スピーカー
(AT-SP350R)



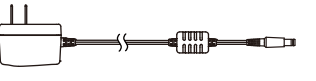
●送信機
(AT350TX)



●変換コード (10cm)



●スピーカー専用 AC アダプター
(AD-LL0608AR)



●送信機専用 AC アダプター
(AD-SD1203AO)

●保証書
●かんたんマニュアル
●取扱説明書（本書）

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

危険

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

電池について

指定電池	単 3 形アルカリ乾電池または単 3 形ニッケル水素電池 ×4 (別売)
------	--------------------------------------

危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
・万一なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
・皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

警告

●火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。

●幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。

●電池は (+) (－) を逆に入れない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の (+) と (－) を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

注意

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●以下の場所で使用、放置、保管しない
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・炎天下の車内
・ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、性能低下の原因になります。

●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。

●外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●保管、廃棄の場合は端子（金属部分）をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●機器を使用したあとは必ず電源を切る
液漏れの多くは、電源の切り忘れによる電池の消耗が原因です。

●指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

使用上の注意

●ご使用の際は、接続するテレビの取扱説明書も必ずお読みください。

●プラズマテレビでは使用できません。

●本製品以外の赤外線方式を採用したコードレスヘッドホンやコードレスマイクを同時に使用することはできません。

●送信機は同時に 2 台以上使用することはできません。

●耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。

●本製品はモノラルスピーカーです。ステレオ再生機器と接続した場合、モノラルで再生されます。

●直射日光が当たる場所や照明器具の光、コードレスマウス、IH 調理器などの電磁波の影響で、音声が届かなくなったりノイズが出る場合があります。

●長い間使用すると紫外線（特に直射日光）により本体やコードが色あせる場合があります。

●AC アダプター、接続コード、変換コードのプラグは根元まで確実に差し込んでください。

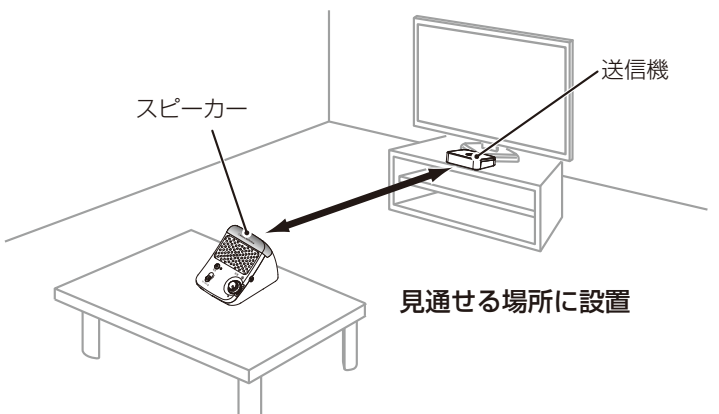
●AC アダプターの抜き差しは、電源を切ってから行ってください。

●AC アダプター、接続コード、変換コードは、コードの断線などを防ぐため、コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。

●φ3.5mm ステレオ／モノラルミニジャックのヘッドホン端子、またはピンジャックのライン出力端子以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。

設置について

本製品は赤外線を利用した機器です。テレビに送信機をつないでテレビの音声を手元で聞くことができます。下図のように、スピーカーは送信機との間に障害物がなく、直接見通せる場所に設置してください。



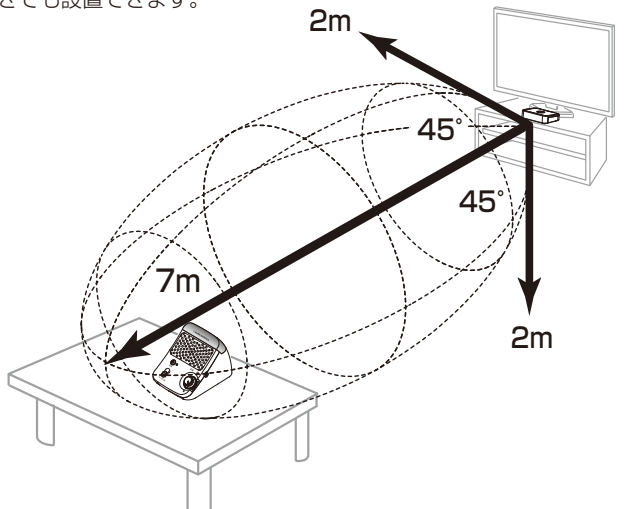
見通せる場所に設置

・スピーカーと送信機の間に障害物があると、音声が届かなくなったりノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。

・送信機はスピーカーとできるだけ同じ高さで設置し障害物を避けてください。

リスニングエリアについて

スピーカーの位置が送信機に対して、正面は約 7m、上下左右 45° は約 2m の範囲で使用できます。スピーカーはどの向きでも設置できます。



・リスニングエリア内でも、直射日光が当たる場所や照明器具、コードレスマウス、IH 調理器などの近くでは光や電磁波の影響を受けやすくなります。それらを避けた場所に設置してください。

・リスニングエリア内でも、送信機から離れることで雑音が増えますが、故障ではありません。できるだけ聞きやすい場所に設置してください。

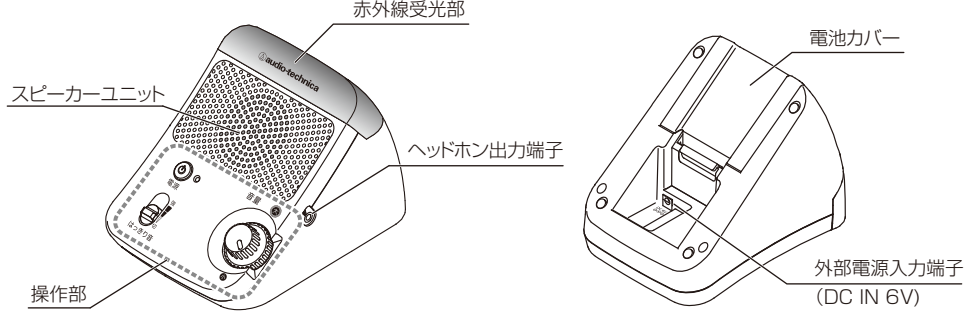
・暗い色の壁紙の部屋など、使用する環境によってはリスニングエリアが狭くなる場合があります。

各部の名称

スピーカー AT-SP350R

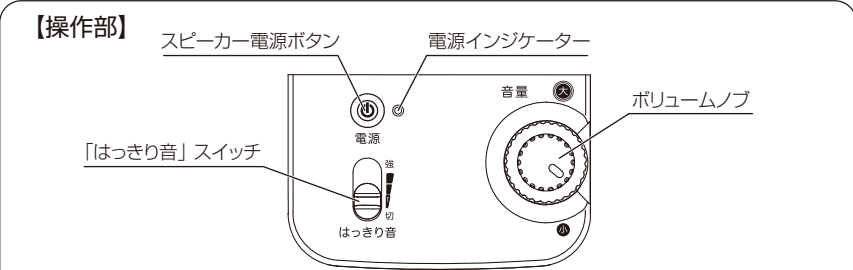
正面

底面



赤外線受光部
スピーカーユニット
ヘッドホン出力端子
操作部
電池カバー
外部電源入力端子 (DC IN 6V)

【操作部】



スピーカー電源ボタン
電源インジケーター
「はっきり音」スイッチ
電源
はっきり音
音量
ボリュームノブ

送信機 AT350TX

正面

背面

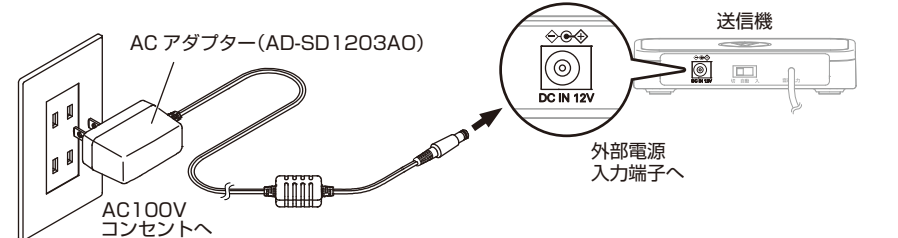


赤外線発光部
外部電源入力端子 (DC IN 12V)
電源切換スイッチ
接続コード (1.5m)
音声入力端子 (φ3.5mm ステレオミニプラグ)

送信機を準備する

1. 送信機の電源切換スイッチが「切」になっていることをご確認ください。

2. 送信機の外部入力端子と付属の送信機専用 AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。



AC アダプター (AD-SD1203AO)
AC100V コンセントへ
外部電源入力端子へ
送信機

テレビとの接続のしかた

●接続するテレビの取扱説明書も併せてお読みください。
●テレビとの接続は使用したい場面にあわせて、以下の 2 種類の方法があります。

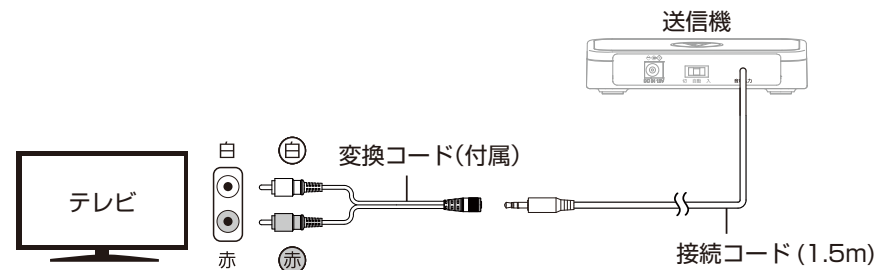
【1】スピーカーとテレビの両方から音声を出力したい場合

テレビの音声出力端子に接続します。



スピーカー
テレビ

送信機の接続コードと付属の変換コードを接続し、変換コードのプラグ (白 赤) をテレビの音声出力端子 (テレビによっては「モニター出力」「入力／音声出力」など) に接続します。



送信機
接続コード (1.5m)
テレビの音声出力端子へ

・テレビの音量を変えてもスピーカーの音量は変わりません。

・テレビ側の「音声出力設定」を変更しないと音声が出されない場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

・お持ちのテレビに音声出力端子がない場合は [2] の接続方法を使用してください。

・一部のテレビでは、HDMI 入力端子がほかの機器と接続されていると、[1] の接続方法では本製品の音声が出ない場合があります。その際は、[2] の接続方法を使用してください。

テレビとの接続のしかた (つづき)

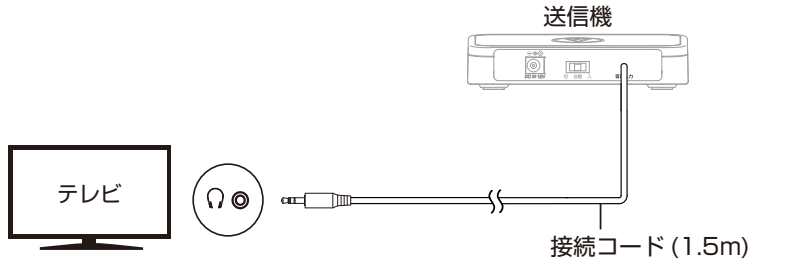
【2】テレビの音は消してスピーカーだけ音声を出力したい場合

テレビのヘッドホン (イヤホン) 端子に接続します。



スピーカー
テレビ

送信機の接続コードをテレビのヘッドホン (イヤホン) 端子に接続します。
※テレビの音量は、音がきこえない範囲で、できるだけ小さくしてください。



送信機
接続コード (1.5m)
テレビのヘッドホン (イヤホン) 端子へ

・「スピーカー出力切換」など、テレビ側の音声を ON / OFF できるテレビでは、スピーカーとテレビの両方から音声を出力することもできます。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

